

令和2年2月28日

保護者様

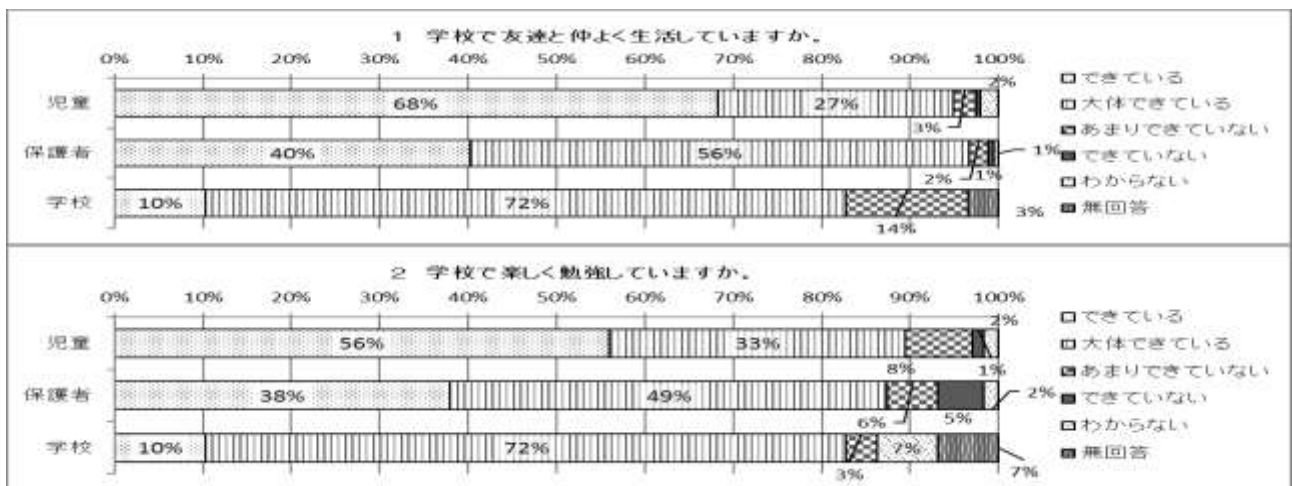
さいたま市立常盤北小学校
校長 石崎 敬吾

令和元年度 学校評価（教育アンケートの結果）について

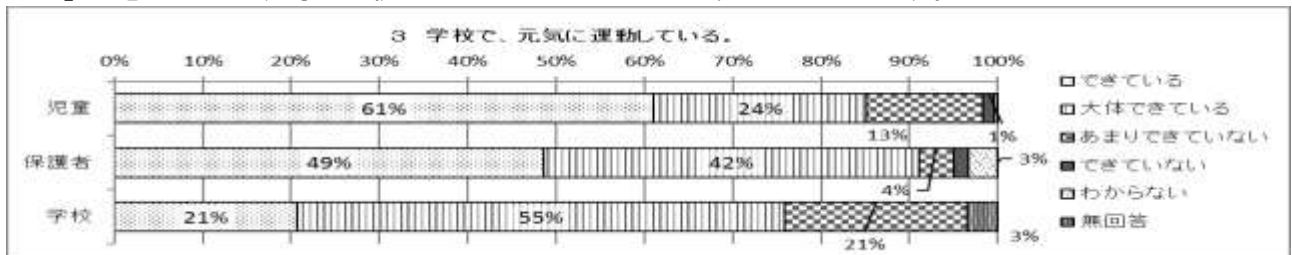
春暖の候、保護者の皆様に御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素より、本校教育活動への御理解、御理解に感謝いたします。

さて、令和元年11月に御協力いただきました「教育アンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせします。また、2月15日に行われた学校校関係者評価委員会（学校評議員会・いじめ防止対策委員会）の際にいただいた御意見も記載いたしました。御覧ください。

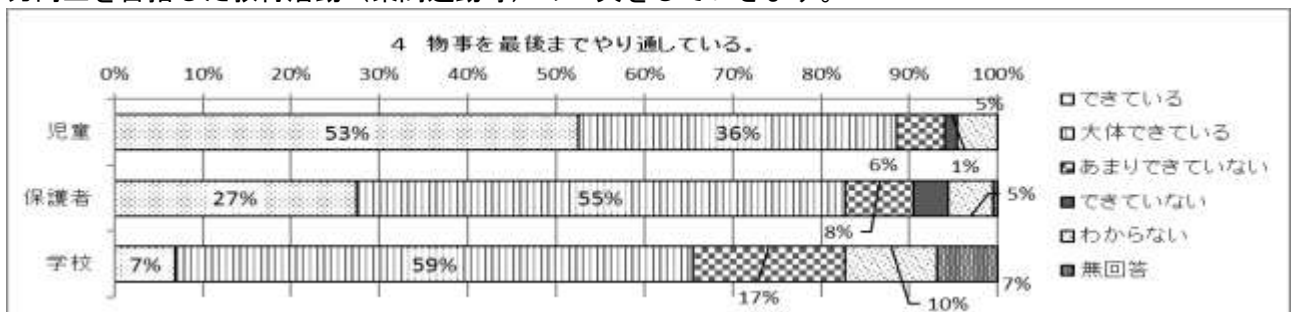
1 児童、保護者（地域）、学校の「教育アンケート」結果の比較（11～15は保護者（地域）、学校の比較） 令和元年11月実施（回答数 児童：240名 保護者：179名）



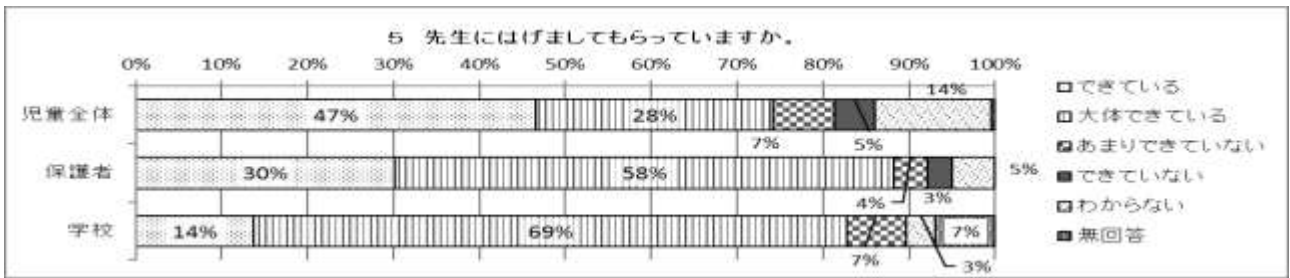
8割以上の児童が友達と仲よく生活したり、楽しく勉強したりしています。「学校が楽しい」と感じながら、毎日登校できていることはとてもうれしいことです。



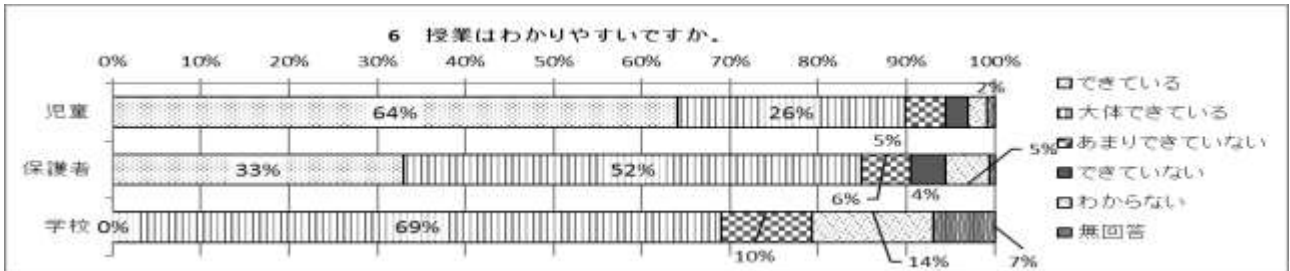
「学校で元気に運動している」と感じている児童が多いですが、今年度も体力テストの結果を考察すると、握力、投力は市の平均を下回っています。外遊びが習慣化することができるよう、引き続き、体力向上を目指した教育活動（業間運動等）の工夫をしていきます。



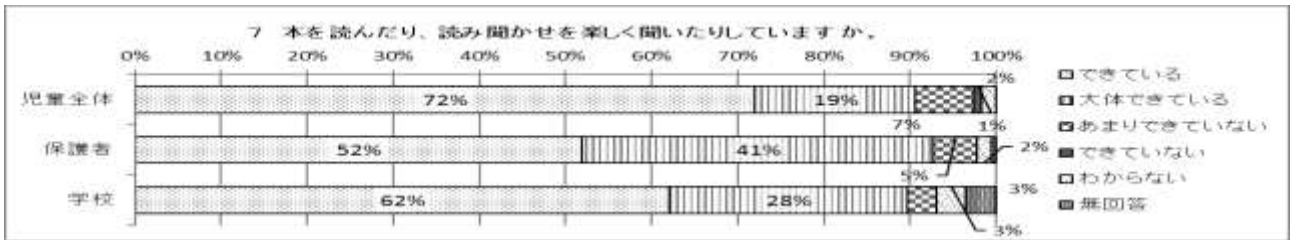
9割近くの児童が「最後までやり通している」と感じています。保護者（地域）8割、学校7割と差があります。



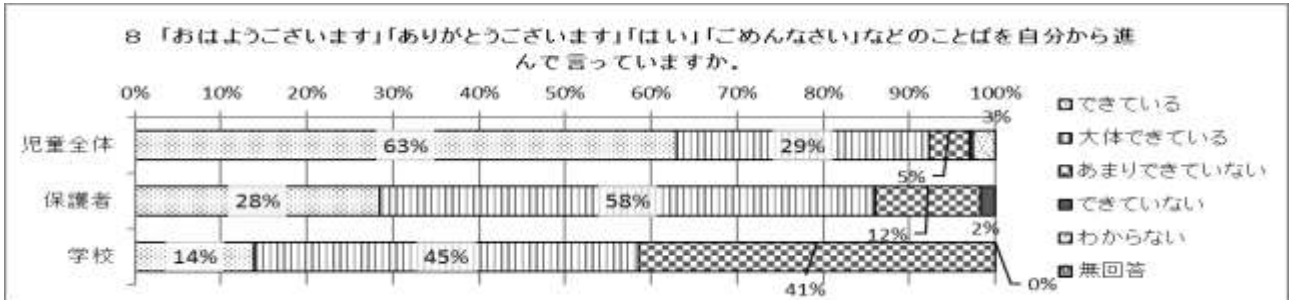
全体の数値を昨年度と比較するとほぼ同値でしたが、子どもたちは、担任の先生はもちろん、自分に関わる全ての先生に声を掛けてもらうことで「がんばろう」という気持ちをさらに引き出します。今後も児童一人ひとりに対して、さらに目配り心配りをして、きめ細やかな指導をしていきます。



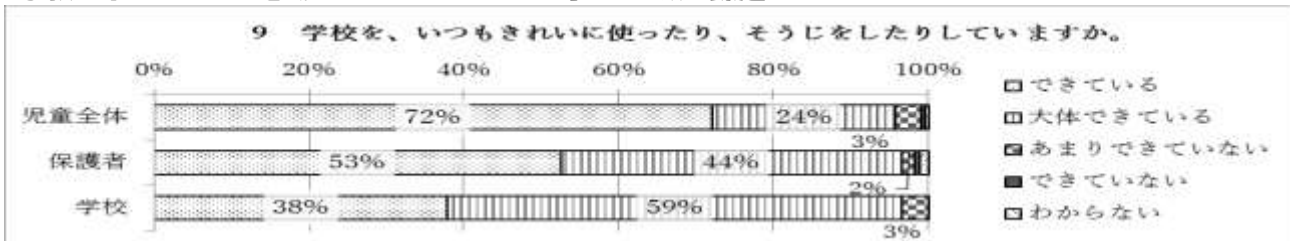
今年度から3年間、さいたま市教育委員会の研究指定を受け、算数科を中心に研修を行っています。これからも基礎学力の向上、全ての児童がわかる喜びを味わうことができるよう、授業力向上を目指して日々の学習を進めていきます。



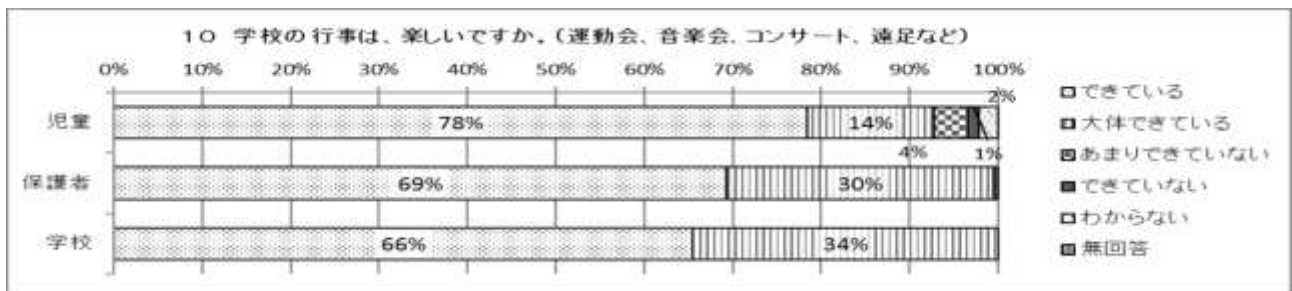
ひまわりっ子は本が大好きです。**4月から2月中旬までの学校図書館の貸出冊数は 10,951 冊**です。特に貸出しが多かった学年は**2年生と4年生で、それぞれ約2300冊**でした。休み時間や放課後、学校図書館に足を運ぶ児童も多いです。読書ボランティアの皆様の御協力も大きいです。ありがとうございます。



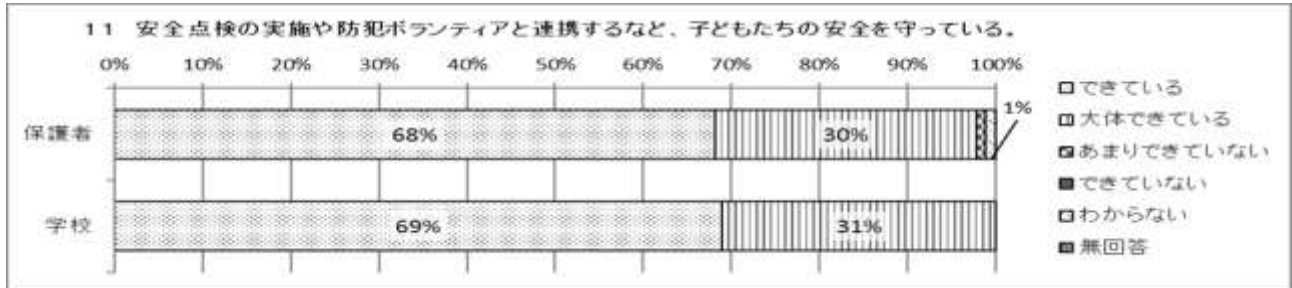
多くの児童が「自分からあいさつをしている」と思っていますが、保護者（地域）、学校の結果と比べると差があることが分かります。昨年度も同じ傾向が見られました。**積極的なあいさつができるために、「学校の中だけでなく地域でもあいさつができる」ことが次の課題**です。御家庭でもお声掛けをお願いします。



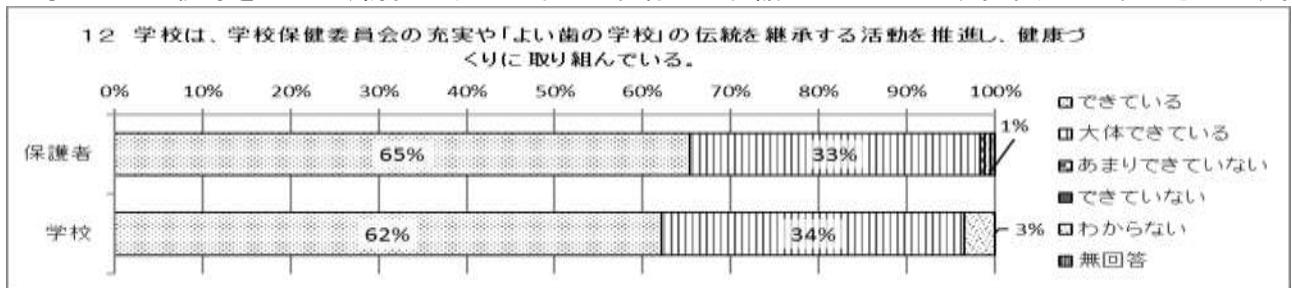
掃除の時間は「黙動（もくどう）」を目標にすみずみまできれいに掃除をしています。昇降口掃除担当の児童は下駄箱の靴をいつもきれいに揃えてくれます。今年度は西側トイレの改修もあり、入ったときよりも美しく使う児童の姿が多くみられました。



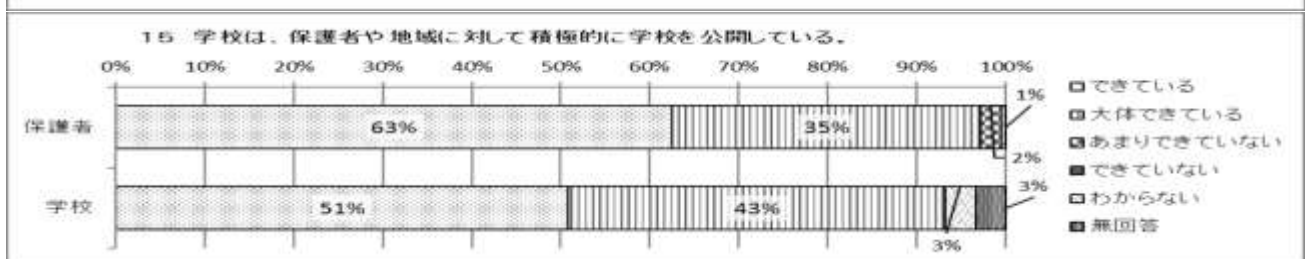
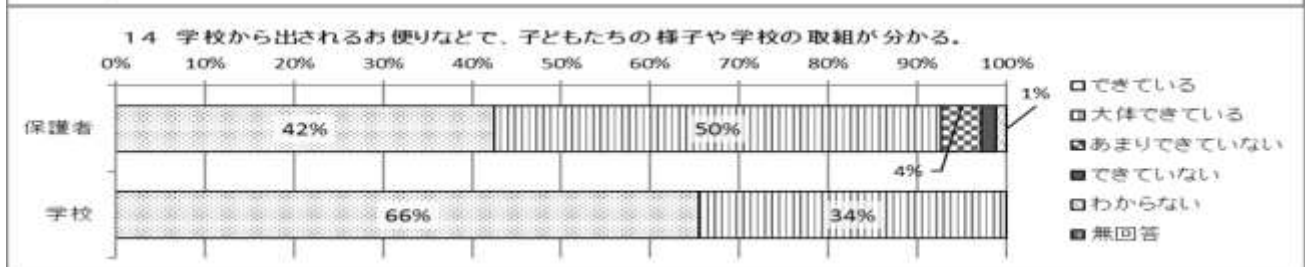
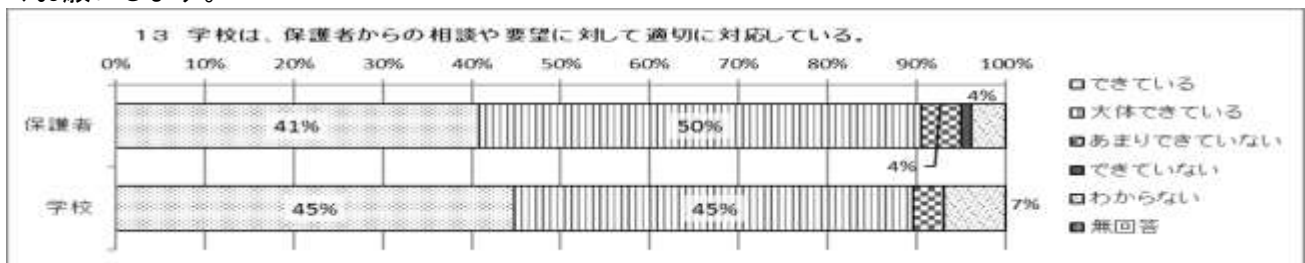
学校行事は年間を通して計画的に行っています。来年度から新しい教育課程が全面実施されます。内容を精査しながら児童にとって充実したものとなるように実施していきます。



毎日の登下校等をはじめ、防犯ボランティアの皆様にお世話になっています。ありがとうございます。



今年度も各学年の発達段階に応じて保健指導を実施しました。また、令和元年度も「埼玉県学校歯科保健コンクール」にて優良賞を受賞しました。御家庭でも歯みがきの習慣がつくよう、引き続きよろしくをお願いします。



学校と保護者の皆様、地域の皆様とが一丸となって、児童一人ひとりの成長を見守っていきます。

2 教育アンケート（保護者対象）の自由記述欄（「よりよい学校にするため」の御意見）

- ・トイレに汚れがある。
→西側トイレは、改修が終わりました。隔週で業者に掃除をしていただいておりますが、気持ちよく使用できるよう、学校でも見ていきます。
- ・いろいろな子どもに対応するため、SA（スクールアシスタント）を多く入れてほしい。
→学級の実態を鑑みて、クラスに入ってもらっています。
- ・旗登板の時にあいさつをしてくれる子が多くなったように感じる。
- ・あいさつや感謝の言葉が自分から言える子どもになるよう、家庭・学校・地域が協力できるとよい。
→学校・家庭・地域で、気持ちのよいあいさつができるよう、引き続き指導をしていきます。
- ・保護者の意見を反映させる「ご意見箱」を設置してほしい。
→2階昇降口に「PTAの声」がございませう。PTA本部の方が定期的に中を確認しています。御活用ください。
- ・学校だより、学年だよりの写真が見づらい。
→個人情報保護の観点から、画素数を落として掲載しております。御了承ください。

3 学校評議員会・学校関係者評価委員会いただいた御意見等

【学校の指導、児童の様子等】

- ・言葉づかいについて、家庭の言語環境の影響もあるが、低学年から学校で指導できるとよい。他人を傷つける言葉がなくなるようにしたい。
- ・男女関係なく、名字に「さん」づけをすることは一人の人格として認めていく上で非常によいことである。
- ・携帯電話が普及したこともあり、家に電話で連絡をするということがなくなった。敬語の使い方を実生活で学ぶことが少なくなった現在、学校、地域で敬語を学んでいく必要がある。
- ・SNS、LINE等の使い方について、スマートフォンをもたないということは難しい時代である。安全な使い方について家庭でも声を掛けていくようにする。
- ・外国籍の家庭、児童が多い学校である。人権について学校でも引き続き指導をしていってほしい。
- ・今後も子どもからみた理想の先生に出会える学校をつくってほしい。
- ・男女共同参画社会の観点から、混合名簿にしてはどうか。

【地域と学校の関係】

- ・地域の行事への参加が多い地域である。今後も地域で児童を育てることができるようにしていきたい。
- ・地域の方で常盤北小学校のよさを伝えることができるとよい。今、在籍している児童のことを一番に考えることが自分たちの役割であるのではないか。

【地域とのかかわりについて】

- ・地域の方が子どもたちを支えてくれていることを知った。保護者はその思いが知ることができるとよい。
- ・いじめ、貧困問題等、家庭が抱える問題について、地域が入り込むことが難しい。地域が居場所をつくること、現状に気付いてあげることがどこまでできるかが課題である。

4 次年度へ向けて

- ・言葉づかいについて、友達と会話をするとき言葉を選び、気持ちのよいやりとりができ、心にゆとりをもった生活ができるように、学校全体で指導をしていきます。
- ・混合名簿について、いただいた御意見をもとに、学校でも検討をし、来年度から実施をしていきます。
- ・家庭・地域・学校が連携・協力して子どもを育てていくことが大切です。一人ひとりの児童と向き合い、今後も教育活動を続けていきます。
- ・経験の浅い教員、若手の教員をはじめ、全ての教員が自分自身の指導について振り返り、全ての児童が「分かった」「できた」を味わうことができる授業づくりができるよう、取り組んでいきます。
- ・いじめの早期発見、早期解決について、毎学期初めに実施する「心と生活のアンケート」や月1回実施している学校独自のアンケートが形骸化していることが課題です。アンケートの重要性について、教職員が再度認識を深めるとともに、いじめの早期発見、早期解決ができるように引き続き対応をしていきます。また、日々の児童の様子や対話を通して、小さな変化を見逃さないようにしていきます。
- ・学校評議員(学校関係者評価委員)をはじめ、地域の方々や保護者と連携・協力し、地域からの信頼度をより高めていきます。そのために、学校公開、学校だより、学年だより、ホームページなどを活用し、学校での取組や児童の様子をさらに積極的に伝えていくことができる「開かれた学校づくり」を目指していきます。

※「教育アンケートのまとめ」についての問い合わせは、本校教頭までお願いいたします。

なお、本校ホームページに掲載する予定です。(http://tokiwakita-e.saitama-city.ed.jp/)

<問い合わせ先>

さいたま市立常盤北小学校
教 頭 茂 木 千 春
電 話 8 2 5 - 6 3 3 6